

はじめに

石神井川は、遺跡に見られるような太古から水田に利用していた昭和30年代まで、人々の暮らしとともにありました。

しかし、流域の急激な都市化に伴い、石神井川は治水に重点が置かれ、川とのふれあいができない姿となっています。

それでも、最近では湧水を集めて流れる川として、魚や水草をはじめ、水辺の生きものがよみがえりつつあります。また、「うるおい」と「やすらぎ」をもたらす身近な水辺としての川づくりが、住民参加で行われようとしています。

このマップを案内人として、皆様方に石神井川を楽しみながら歩いていただき、「川のあべき姿」を考えていただければ幸いです。

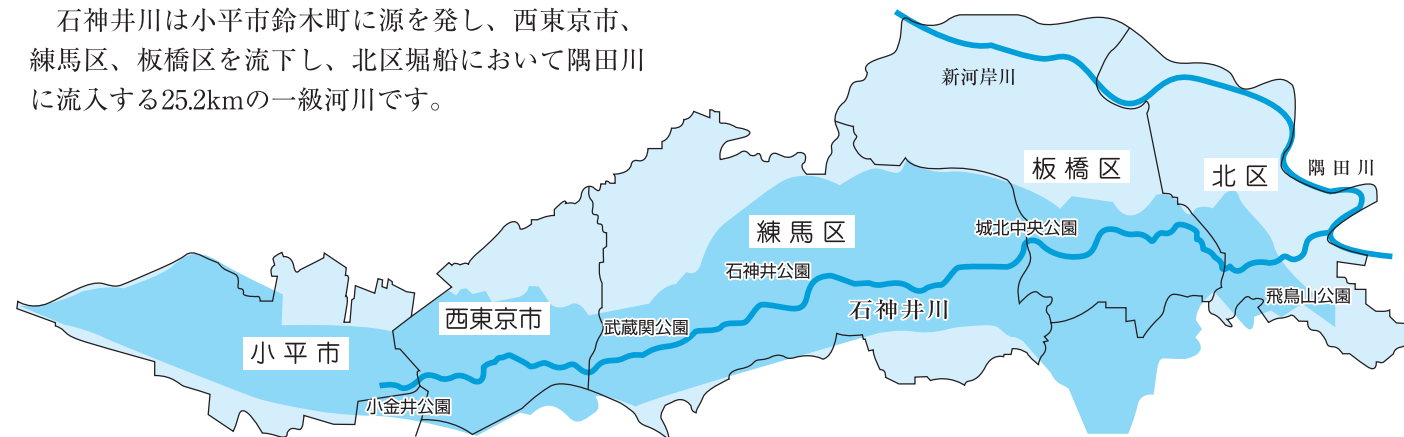
石神井川流域環境協議会

もくじ

はじめに・もくじ	1
石神井川流域図	2
小平市	3~6
西東京市	7~10
練馬区1	11~14
練馬区2	15~18
板橋区	19~22
北 区	23~26
水辺のいきもの	27~28
湧水	29
石神井川湧水ポイント	30

流域図

石神井川は小平市鈴木町に源を発し、西東京市、練馬区、板橋区を流下し、北区堀船において隅田川に流入する25.2kmの一級河川です。



(図中の小平市の流域には、下水道北多摩1号処理区が含まれています。)

級 種 : 一級河川
一級河川地点 : 小平市花小金井南町3丁目2番地先
河 川 延 長 : 25.2km
流 域 面 積 : 61.6km²

豆知識

「右岸」「左岸」

川の右岸、左岸とは、川の流れる方向、すなわち上流から下流を見て、川の右側が右岸、左側が左岸です。

小平市



小平市八小遺跡

鈴木遺跡資料館



氷川神社

新小金井街道

回田本通り

五日市街道

小平八小

鈴木街道

鈴木街道公園

小金井街道

小金井カントリー倶楽部



嘉悦大学脇の河川の様子

花小金井駅

花小金井南公民館

鈴木街道

花小金井南中

嘉悦大学

小金井公園通り

ひょうたん池

千代田区グランド

小金井公園

西武新宿線



狭山・境緑道

めがね橋

狭山・境緑道

鈴木街道

芝久保運動場

ともえ橋



めがね橋



植栽マットの敷かれた河床

小平市

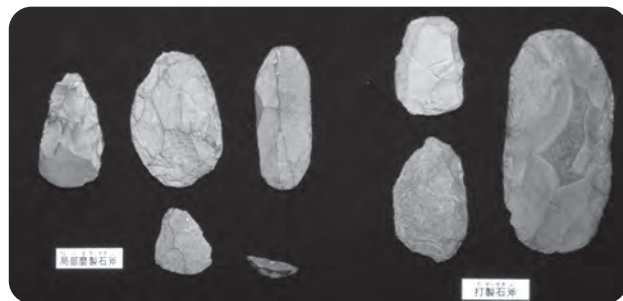
① 鈴木遺跡

小平市鈴木町1-450

(鈴木遺跡資料館) 小平市鈴木町1-487-1 tel. 042-323-2233
休 館 日：月・火・木・金(休・祝日の場合は開館)
年末年始(12月27日～1月5日)
開館時間：10：00～16：00
入 館 料：無料

昭和49年6月、現在の鈴木小学校用地で発見された約1～3万年前の旧石器時代の遺跡です。石神井川の源流部もかつてこの辺りにあったと言われています。

鈴木遺跡資料館では、鈴木遺跡から出土した多くの貴重な資料を展示公開しています。



鈴木遺跡の石器

② 都立小金井公園

小平市花小金井南町3丁目

約79haの敷地に、広場、野球場、サイクリングコース、ソリゲレンデ、江戸東京たてもの園などがあります。四季を通じていろいろな花が楽しめます。特に桜は都内でも有数の名所として知られています。



都立小金井公園

③ 河 床

小平市花小金井南町3丁目

石神井川は小金井公園通りから下流は一級河川になります。途中までは川の流れを良くするために河川中央部分にU形の溝があります。この周囲には植栽マットが敷き詰められ、草などが自然に生えるようになっています。

④ 狭山・境緑道

小平市花小金井南町1～3丁目

市内一周緑道(グリーンロード)の一つとして、狭山湖から境浄水場を結ぶ緑道です。

中央部はサイクリングロードになっており、地下を水道管が通っています。

花小金井付近では、桜が植樹され、春にはみごとな桜のトンネルになります。

⑤ めがね橋

小平市花小金井南町3-10先

このめがね橋は、東京市民の飲料水確保のため、村山貯水池から境浄水場(武蔵野市)までの導水路が築造された大正6年に誕生したものといわれています。

石神井川を横断するために、横断部をめがね形状に、その上部を盛土し導水管を通しました。その後、石神井川は河川改修等でいくたびかの手当てがされましたが、めがね形状はそのまま残されています。

よって
みよう

ふれあい下水道館

小平市上水本町1-25-31
042-326-7411

開館時間：10：00～16：00

休 館 日：毎週月曜日(休・祝日の場合は)
以後、直近の平日)
年末年始(12月27日～1月5日)

入 館 料：無料

1990年度に下水道普及率が100%を達成したことを記念してつくられました。地下25mに埋められている下水道管の中に入り、実際に下水の色やにおいなどを体感できます。下水道の役割を知り、水環境について考えてもらう全国でも初めての施設です。

西東京市



西東京市(旧田無市・旧保谷市)

① 向台調節池

西東京市向台町5-4

石神井川流域では急激な都市化により、豪雨による冠水被害をたびたび被っています。洪水対策としては、河川改修がありますが、水を一時貯留することも大変有効です。調節池は、石神井川が一定水位以上になると池に流入し、水位が下がると排水されます。ほかに、芝久保・南町の調節池もあります。また、これらの調節池は、平常時には公園やスポーツ広場として利用され市民の憩いの場となっています。

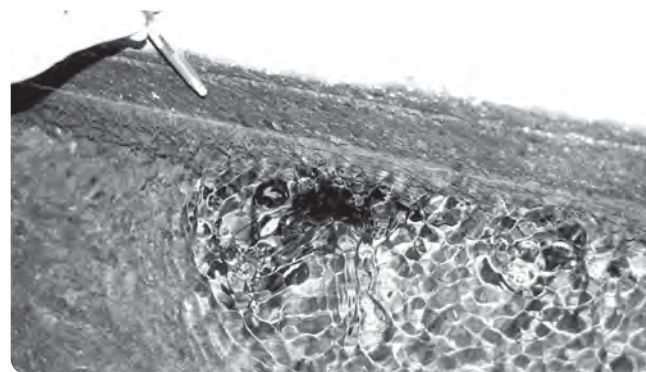


早稲田グラウンド付近

② 「悪水」から「石神井川」へ

小平市や田無地区では、古くは「悪水」と呼ばれていました。一度雨が降るとすぐに溢水し、農作物や人命に多くの被害を与えたとの伝承が残っています。

こうした被害も、昭和40年代に行われた数々の改修工事により治まり、当時を偲ぶものはすっかり姿を消してしまいました。



湧水 早稲田グラウンド付近

③ 東伏見稲荷神社

西東京市東伏見1-5-38

昭和4年(1928)建立。当時は湧水を利用していた池もありましたが現在は池はなくなっています。元旦や節分は多くの参拝者でにぎわいます。

④ 「東伏見橋」から「下野谷橋」

伏見通り工事(H25)に伴い、東伏見橋から弥生橋及び早稲田大学東伏見キャンパス東伏見総合グラウンド付近の下野谷橋の付け替えが終了したことで、河川が本来保有する生物の生息環境や多様な景観を保全・創出しやすくなりました。

河床の護岸の状況も変わり、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮した遊歩道からは、石神井川の水生生物を含めた野草の群生や昆虫類などのようすをみることができます。

現在は、治水・利水機能と環境機能を両立させた河川管理を行うなど、河川全体の自然の営みを視野に入れた活動を行っています。

よって
みよう

多摩六都科学館

平成6年3月に開館。東京都多摩北部地域の田無市・保谷市(現在の西東京市)、東村山市、小平市、清瀬市及び東久留米市の6市が、生涯学習施設の核となる施設として、次代を担う子供たちの夢を育み、科学する心を養うとともに、各世代の教養を高めるなどの目的で設立された施設です。館内は宇宙の科学、生命の科学など5つのゾーンに分かれた展示室と直径27.5mの世界最大級のプラネタリウムドームとで構成されています。このドームでは全周映画の上映も行っており、巨大スクリーンで臨場感あふれる星空と迫力ある映像が体験できます。



早稲田大学東伏見総合グラウンド付近(緩傾斜自然再生工法)

練馬区1

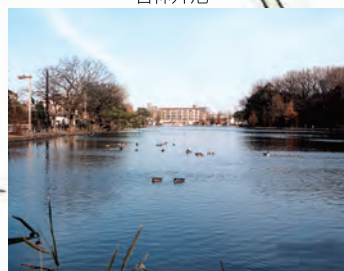
富士見池



三宝寺池



石神井池



高野台運動場



練馬区1 (富士見池から西武池袋線線路まで)

① 富士見池 (練馬区立武蔵関公園)

昔はこの辺りに「関の溜井」という湧水池があり、石神井川の水源の一つになっていました。現在は富士見池として、北側がポート池、南側が自然探勝のできる池に公園整備されて親しまれています。この池は、大雨で石神井川が増水したときに水を一時溜めて洪水を防ぐ調節池となっています。

② 三宝寺池 (都立石神井公園)

かつては武蔵野の三大湧水池の一つで、石神井川の水源地でしたが、今は地下水を汲み上げて水量を維持しています。

池の北側の水辺観察園では、天然記念物に指定されているミツガシワやコウホネなどの沼沢植物群落を見ることができます。また、平成8年には「三宝寺池の鳥と水と樹々の音」が「残したい“日本の音風景100選”」に選ばれました。池の南側には石神井城址もあり、

殿塚・姫塚とともに歴史と豊かな自然を身近に感じることができる空間となっています。

③ 石神井池 (都立石神井公園)

この池は、三宝寺池から流れ出た川と周りの水田を利用して、昭和の初めにポート池としてつくられました。池の南側には野外ステージがあり、照姫祭りのメインステージとしても利用されています。また、隣には区立プールや池淵史跡公園があり、「武蔵野の路」のコースにもなっています。



平成みあい橋

④ 照姫 (てるひめ) まつり

室町時代中期に石神井城を本拠としていた豪族・豊島泰経（としまやすつね）とその娘（照姫）が、落城の際に三宝寺池へ身投げした悲話にちなみ、石神井公園周辺を舞台に毎年行われます。練馬区民が企画・運営に携わり、公募で選ばれた方々を中心とする約100名の行列が祭りの華となっています。例年、4月下旬の日曜日に開催されます。



照姫祭り

⑤ 和田堀緑道

練馬区石神井町3-1~2

かつて石神井池から石神井川まで流れていた水路の跡を、緑道として利用しています。夏には遊歩道沿いにろ過した石神井池の水を流しているので、子どもたちにとっては絶好の水遊び場所となっています。なお、この緑道も「武蔵野の路」のコースとなっています。

⑥ 南田中緩傾斜護岸

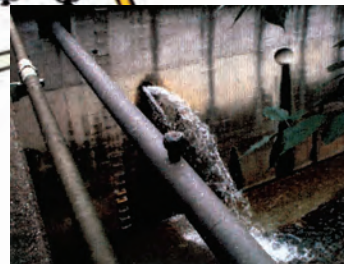
練馬区石神井町1丁目

傾斜の緩いテラス状護岸として、平成6年に整備されました。ここにはデザインコンテストで受賞した“三本の矢”をモチーフにして「平成みあい橋」も架けられ、隣接する長光寺橋公園とともに地域の憩いの場として利用されています。

練馬区2



ハクセキレイ



練馬区2 (西武池袋線線路から城北中央公園まで)

① 練馬総合運動場公園

練馬区練馬 2-29-10

もとは中央大学のグラウンドで、現在は練馬区立の運動場として野球やサッカーなどで利用されています。川沿いのイチョウ並木は「練馬区の素敵な風景100選」などに選ばれていて、落ち葉の季節にはノスタルジーを味わえるかも…。



イチョウ並木

② 魚 道

石神井川の全長をながめると、河床が急な坂や落差になっていて、魚や底に棲む生きものたちが自由に移動できなくなっているところがあります。生きものたちへの障害を解消させるために魚道や魚巢ブロックを設置したりと、これまで様々な試みを行っているものの、なかなか効果があがらないようです。

③ 地下鉄の湧水

練馬区早宮 3-58 地先、練馬区氷川台 3-35 地先

タイミングが良ければ、中之橋の真下と正久保橋のすぐ下流、ともに左岸側から、透明な水が勢いよく石神井川に流れ落ちるのを見ることができます。これは、ちょうど真下を通っている地下鉄のトンネルにしみ出た地下水を、一定量溜まったところで川に排出しているものです。

④ 道 楽 橋

練馬区高松 2-1 地先

目白通りの旧道（そのまた昔は清戸道）と交わる場所に架かる橋です。昔々、農民を集めて橋を架けようとしたところ農繁期で人が集まらず、いつまでたっても橋が架からないので、まるで道楽で橋を架けている…と非難したのが名前のいわれとか。

現在の橋は、「武蔵野の路」の一部として平成2年に架け替えられました。テラスやデザインされた欄干（らんかん）が特徴的です。



白山神社の大ケヤキ

⑤ 河 川 改 修

これまで石神井川は、1時間あたり30mmまでの降雨に対応できるようになっていましたが、現在、75mmの雨にも対応できるように、北区から板橋区、練馬区へと下流から改修工事が進められています。工事は練馬区の螢橋付近まで完了しており、現在は螢橋から本立寺橋の区間で、護岸整備などが進められています。

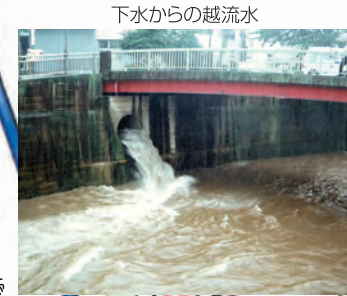
トピックス

練馬区の素敵な風景100選

練馬区60周年記念事業の一環として、区の今を再発見し新しい魅力を発信するために、区内の魅力的な風景を広く募集し平成19年1月に選定されました。

石神井川沿いの桜（大橋、中之橋、西豊城橋）
練馬総合運動場のイチョウ
石神井川の散歩道
雪の三宝寺池 などが選ばれています。

板橋区



板橋区

① 茂呂遺跡

板橋区小茂根5-17

通称「おせど山」と呼ばれる丘の脇で、1万7千年前（旧石器時代）の黒曜石の石器が発見され、「茂呂型ナイフ」石器と命名されています（東京都史跡）。



茂呂遺跡

② あげ掘跡と石橋

板橋区東新町2-30 安養院内

栗原堰から取水した用水堀（あげ堀）の跡が境内に残っています。板橋区登録記念物のカヤがあります。



あげ掘跡と石橋

③ 氷川つり堀公園・石神井川緑道（せせらぎ）

板橋区氷川町21、本町28

昔の川の跡を利用して作られました。流れる水は地下鉄構内に流入する地下水を利用しています。

④ 中山道板橋宿

板橋区本町周辺

板橋は、江戸時代の五街道のひとつ、中山道の第一番目の宿場町で、本陣や旅館が並びにぎわったところでした。石神井川にかかる橋がこの地名の由来とも言われています。石神井川緑道にかかる小さな橋から昔の板橋を想像して下さい。

⑤ 俳句の散歩道

板橋区加賀1・2丁目付近

石神井川沿いの散歩道。桜の花を見ながらゆっくりと散歩が楽しめます。この一帯は加賀藩下屋敷があった場所で、加賀藩にちなんだ橋の名前や地名がつけられています。

明治になって陸軍の火薬工場になりました（動力は石神井川の水車）。当時のレンガ造りの建物や火薬をすりつぶすのに使った圧磨機圧輪の記念碑があります。

⑥ 昔の河道

板橋区加賀1-12

昔の川は、もっと曲がりくねっていて、川底も浅かったことがわかります（加賀橋右岸）。

⑦ 千川上水の放流口

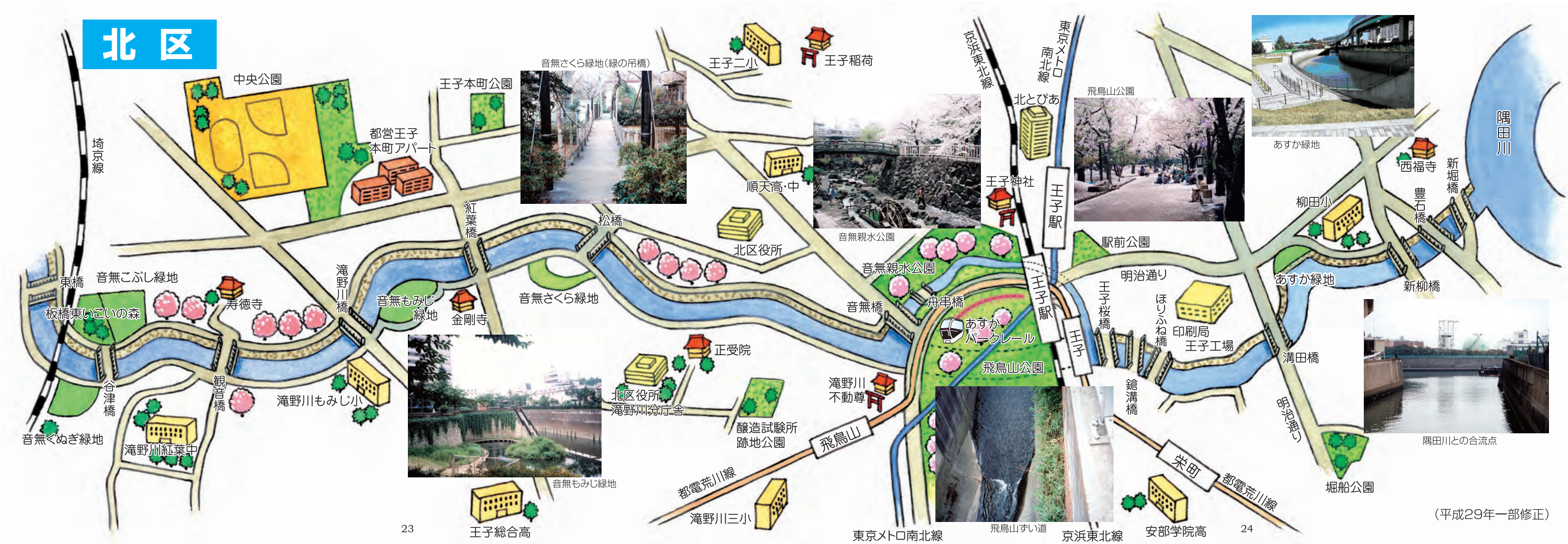
板橋区板橋4-44

せせらぎが復活した玉川上水から水を分けた千川上水の流れは、途中から暗渠（あんきょ）になり、石神井川に流れ込みます。護岸から流れ落ちる水は下水ではなく、千川上水の出口です。



千川上水の放流口

北区



(平成29年一部修正)

北 区

① 音無もみじ緑地

北区滝野川4-2先

昔、とくにみごとな紅葉があったと伝えられることから名付けられた緑地。半円形のすり鉢状で水辺まで下りることができ、カモなどの多くの野鳥を観察できます。

② 音無さくら緑地

北区王子本町1-6先

周りは静寂に包まれ、自然の河岸も残されているため、昔ながらの川の風情が楽しめます。ここに架かる緑の吊橋は本格的なもので、23区でもたいへん珍しく貴重なものです。

③ 音無親水公園

北区王子本町1-1-1先

石神井川の旧河道を改修して「人と水」をテーマに昭和63年に開園。自然の川のような景観のなかに木橋や、水車などが配されています。春は花見客でにぎわい、夏は子供たちが水遊びをする姿が見られます。また、全国の都市公園の模範たる公園として「日本の都市公園100選」にも選ばれています。



音無もみじ緑地のカモ

④ 飛鳥山公園

北区王子1-1-3

八代将軍吉宗がこの地を王子神社に寄進（きしん）し、桜を植え、一般に開放して以来、桜の名所となりました。公園の敷地内に紙の博物館、飛鳥山博物館、渋沢史料館があり、北区の自然・歴史・文化や紙の知識等が学べます（有料）。平成23年7月には、麓から山頂までをつなぐ足として、本格的なモノレール『あすかパークレール』（無料）が運行を開始しました。



あすかパークレール

⑤ 北とぴあ

北区王子1-11-1

北区の産業の発展と区民の文化水準の高揚を目的として建設された、北区のシンボル。本格的なクラシックコンサートができるホールのほか、各種会議室や消費生活センターなども整った、“産業と文化の拠点”となっています。17階の展望ロビー（無料）からは、北区全体が眺望できます。



北とぴあ

水辺の生きもの

石神井川は水質が改善された結果、多くの生きものが生息するようになりました。しかし、良好な生息環境を保持している地域は一部にとどまっています。

流域自治体で調査した結果、石神井川では多数の魚類、甲殻類等、環形動物等、昆虫類、水生植物が確認されており、水質の改善と共に種類が増えています。詳しくは流域の自治体のホームページ等をご覧ください。



良好な水辺環境は、河床がコンクリートで覆われていない部分のみにとどまっています。また、石神井川は、河口部（北区飛鳥山公園付近）のきつい傾斜で隅田川と生きものの移動を妨げています。

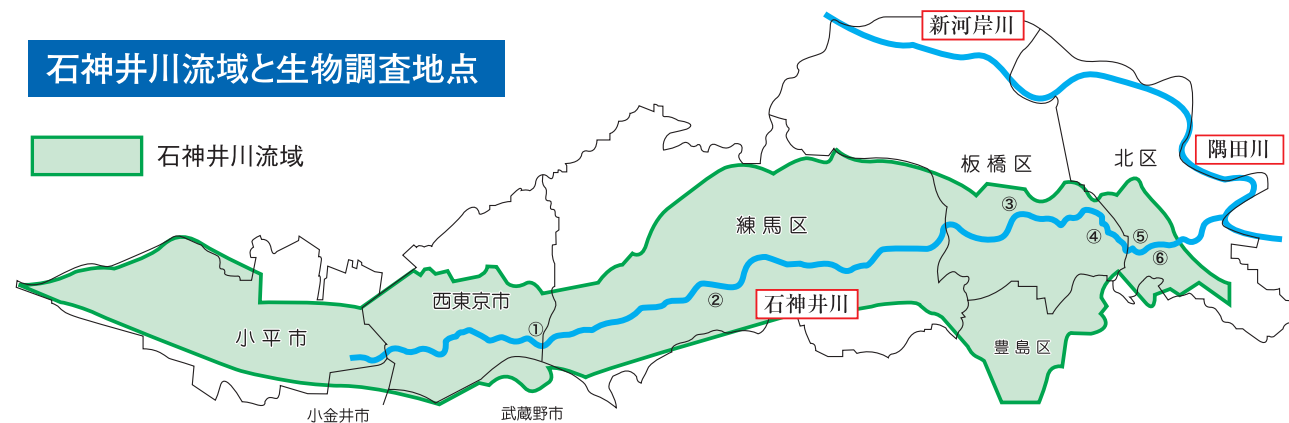


協議会の水生生物調査で確認された生きもの

- 魚 類** ・アブラハヤ ・ドジョウ ・モツゴ ・ギバチ ・ハゼの一種
・オイカワ ・メダカ ・スズキ
- 甲殻類等** ・アメリカザリガニ ・ミズムシ ・ヨコエビの仲間
- 環形動物等** ・ミズミミズの一種 ・シマイシビル
- 昆 虫 類** ・サホコカゲロウ ・トビゲラの一種 ・アメンボ ・ハグロトンボ
- 水生植物** ・ガマ属 ・オオカナダモ ・ウチワゼニクサ ・メリケンガヤツリ など

※令和2年度事業報告書

石神井川流域と生物調査地点



湧 水

石神井川は河川改修によって深く掘られているので、護岸の水抜き穴や、護岸の亀裂、川底から水が湧き出しています。川岸や橋の上から見て、大小の管から川に流れ込む湧水をみることができます。



流れ込む湧水

湧水の写真



流れ込む湧水

石神井川湧水ポイント

石神井川の湧水

図の●印は、石神井川で見られる湧水の位置を示しています。

